



## 平成27年度の振り返りと平成28年度の展望

特定非営利活動法人 秋田県介護支援専門員協会 会長 福本 雅治

国では、平成27年10月に「一億総活躍国民会議」を設置しています。その中の「第三の矢」の「安心につながる社会保障」では「介護離職ゼロ」が目標に掲げられています。

「介護離職ゼロ」にかかる「緊急に実施すべき対策」として、①高齢者の利用ニーズに対応した介護サービス基盤の確保、②求められる介護サービスを提供するための人材の育成・確保、生産性向上、③介護する家族の不安や悩みに応える相談機能の強化・支援体制の充実の取り組みが進められようとしています。

とりわけ、③においては、ア、介護に取り組む家族のための総合的な相談機能を地域・職域を通じて強化する。また、介護と仕事の両立についても、地域包括支援センターにおけるケアマネジャー（介護支援専門員）が助言できる体制を整える。さらに、ボランティア等による認知症の人の居宅訪問や民間による見守りサービスの育成・展開など家族に対する支援を推進する。イ、介護が必要になったときに速やかにサービスの利用ができるよう、国及び自治体において、介護保険制度の内容や手続きについて住民への周知徹底を図る。ことが打ち出されています。

今年4月に介護報酬改定が行われました。居宅介護支援事業所においては、独居高齢者加算や認知症加算が基本報酬に包括されたこと、特定事業所集中減算の算定要件の割合が引き下がられたこと等により、事業所の経営に影響がでていいる事業所もあるとの情報が聞こえてきています。また、今回はこれまで改正の度に話題となっていた施設ケアマネの位置づけについては何も行われませんでした。次期改正はもう2年後に迫っています。懸念されることは、「居宅介護支援費の1割負担」もありうることです。我々介護支援専門員が、介護保険制度の「要」として、ケアマネジメント機能を発揮し一人ひとりの自覚と努力がこれまで以上に求められていると思います。

秋田県介護支援専門員協会では、地区介護支援専門員協会や日本介護支援専門員協会と情報を共有しながら、会員が希望を持ちながら、力強く、地域に必要とされる専門職として活躍できるようサポートして参りますので、今後ともご支援を賜りますようお願いいたします。

### 【目次】

【巻頭言】秋田県介護支援専門員協会 会長 福本 雅治	1
【県内3地区協会活動紹介】	2-4
【ケアマネペンリレー】県南地区協会会員 高橋弘樹さん	5
【インフォメーション】東北大会報告・秋田県長寿社会振興財団（LL財団）から	6
【秋田県介護支援専門員協会 運営活動報告（事務局・部会等）	7-8

## 県内3地区協会活動紹介

- 県北地区：大館鹿角・北秋田・能代山本
- 中央地区：男鹿湯上南秋・秋田・本荘由利
- 県南地区：大曲仙北・横手平鹿・湯沢雄勝

### 県北地区介護支援専門員協会

地区会長：伊藤 政利（居宅介護支援事業所おおたき）  
 事務局：平澤 陽（居宅介護支援事業所おおたき）  
 TEL：0186-47-7222 FAX：0186-47-7013  
 地区会員：274名（平成27年12月31日現在）

#### 【活動報告】

今年度は3回の研修会を行ないました。第1回研修会は、平成27年4月25日に北秋田市広域交流センターを会場に「制度改正とこれからの県北地区における地域包括ケア体制について」と題し、鼎談形式での研修を、第2回研修会は、平成27年10月10日に大館市中央公民館を会場に「在宅チームのあり方を考える～他職種連携における促進要因と阻害要因」と題しチームもりおか板垣氏、千葉大学準教授辻村氏を講師に迎え、演習を交えながらの研修を、そして第3回研修会は平成27年11月21日に能代山本広域交流センターを会場に「ケアマネジャーが会議を効果的かつ効率的に開催する方法」と題し、ライト・けあ 佐藤康広氏を講師に迎え、ファシリテーション技術について理解を深めました。

他、県北地区初の試みとして、「新任ケアマネジャー向け研修会」を実施。大館、北秋田、能代地区それぞれで各3回、グループスーパービジョン形式で行っております。

#### 【県北地区会長へのインタビュー】

県北地区伊藤会長にインタビューしてみました。

Q1. 今年度の県北地区の活動を振り返ってみての感想は？

「縁あって会長を仰せつかりました。会運営でもいろいろと考える機会を持つことができたことは、自分にとってありがたいことです。会員の、「美しく・かっこいぐ・元気な」顔がもっとよりよく見えるようになりたいです。つまり、研修などを通じて交流を深め、お互いに支えあいながら、そしてよりケアマネジャーとしての実力を高められるような活動を提示していければと思います。」

Q2. 来年度はどういったところに重点をおいた活動を予定されていますか？

「もっとレベルアップしたい、という前向きな悩みに応えられるような事業をおこなっていきたいと思います。会員相互の結びつきが、より強いものとなるような仕組みを整える、県北地区内の三つの圏域それぞれの会員が集う場をつくりたいと思っています。」

Q3. 会員の皆さんに一言お願いします。

「協会に入るメリットは、ひとつ！スキルアップ ふたつ！待遇・処遇の維持改善 みっつ！交流と親睦によるモチベーション維持・向上 です。同じ気持ちを持つ仲間が増えることを心から願い、いっしょに前を向いていきましょう(^\_^)」

#### 【事務局の独り言】

事務局ということもあり、様々な研修会や会議に参加。研修や会議の内容はもちろん大事ですが、「知合いが増えること」が何よりの収穫であり、財産だなあ…と。様々な方と話をし、その価値観に触れ、私自身の成長につながっています。これまで関わってくださった皆様に感謝！そして、これから関わってくださる皆様にも今のうちに感謝！（事務局 平澤）



## 中央地区介護支援専門員協会

地区会長：長澤 利一（特別養護老人ホームやすらぎホームけやき）

事務局：荒谷 亨（秋田聖徳会訪問介護事業所）

TEL：018-862-3267 FAX：018-862-4998

地区会員：253名 賛助会員：個人1名 団体3事業所（平成27年12月31日現在）

### 【活動報告】

昨年度に引き続き地域包括ケアシステム構築に向け、行政・他団体との連携を強化し、介護支援専門員の置かれている現状や意見を各方面に伝えること、またそこから得た情報をホームページ等の活用により迅速に会員の皆様に提供できるような活動を進めてきました。

### 【研修報告】

◇平成27年度 秋田県中央地区介護支援専門員協会 第1回研修会◇

- ・日時：平成27年5月9日（土曜日）13:00～16:00
- ・場所：中央シルバーエリア 多目的ホール
- ・参加者：79名
- ・テーマ：1部「在宅におけるリハビリテーションの今後とその連携」～住み慣れた地域で自立した生活をおくるために～
- ・講師：秋田大学大学院医学系研究科 保健学専攻 作業療法学 津軽谷恵 氏
- 2部「短期入所生活介護 利用者に関する調査」について
- ・講師：日本赤十字秋田看護大学 看護学部 看護学科 助手 萩原智代 氏



◇平成27年度 秋田県中央地区介護支援専門員協会 第2回研修会◇

- ・日時：平成28年2月6日（土曜日）15:00～17:00
- ・場所：秋田県総合保健センター
- ・参加者：75名
- ・テーマ：「利用者、患者を中心に考えよう」～地域包括ケアシステムの実現に向けて私たちにできること～
- ・進行役：秋田県薬剤師会 秋田県中央地区介護支援専門員協会



◇平成27年度 秋田県中央地区介護支援専門員協会 第3回研修会◇

- ・日時：平成28年2月20日（土曜日）14:00～17:00
- ・場所：秋田県社会福祉会館 10階 大会議室
- ・参加者：68名
- ・テーマ：「介護支援専門員のための運営基準の理解について」
- ・講師：介護支援センター「よつばの里」  
管理者・主任介護支援専門員 成澤正則 氏



### 【介護支援専門員育成の取り組み】

初めての取り組みとして、協会会員有志の協力、他団体の協賛を得て『秋田けあまね塾』を3回シリーズで開講しました。対象者を実務経験3年未満の方として、法定研修や日常業務ではなかなか得られないポイントを学んだり、指導陣と課題や悩みを共有する機会が持てました。来年度も「秋田けあまね塾」を開講する予定ですので、皆様の御協力と御参加をお待ちしております。

# 県南地区介護支援専門員協会

地区会長：小原 秀和（介護老人保健施設 なごみのさと）  
 事務局：矢野 仁志（なごみ居宅介護支援センター）  
 TEL：0187-88-8711 FAX：0187-66-3212  
 地区会員：244名（平成27年12月31日現在）

【活動報告】 県南地区介護支援専門員協会では、今年度3回の研修会と各地区（大仙仙北・横手・湯沢雄勝）でのそれぞれの地区活動を行ってきました。年度内の事業を執り行うにあたっては、毎回それぞれの地区代表による役員会を開催し、内容や役割分担等行いながら開催しております。今回はそんな役員会の開催状況をご紹介します。

右の写真は、第3回研修会について、内容や講師について協議している時のスナップ。役員の方はそれぞれ自分の仕事もあり忙しい中ですが殆どの方が会運営のために集まってくれます。



役員会の中では、各地域の取組や現状・課題を出しあい県南地区介護支援専門員協会としてこれからどのような活動を行っていけば良いか熱い議論がされています。例年3回行われている地区研修会の裏方として、また、各地域での多職種連携に係るキーマンとして皆さん活動されています。ますますこれから県南地区は熱くなりそうな予感が・・・

【研修会】 今年も大仙・横手・湯沢雄勝の各地区持ち回りで3回の研修会が開催されました。第1回研修会（総会後）は、平成27年6月6日（土曜日）グランドパレス川端を会場として「薬剤師の仕事って知っていますか？介護支援専門員との目指すべき連携の在り方」と題し、大曲みよし薬局 大曲厚生医療センター前店 学術統括薬剤師 高橋 寛氏よりワールドカフェ形式の研修会を行い、第2回研修会は、平成27年11月7日（土曜日）湯沢グランドホテルを会場に『実践事例から創造する2020年に繋ぐ地域連携』～各地域の多角的取り組みの共有と行動化～をテーマに開催され、また、第3回研修会は、平成28年2月27日（土曜日）横手市を会場にコミュニケーションスキルアップをテーマとして開催されました。



## 【県南から広がる介護支援専門員の育成取組】

県南地区で開催されている『できるケアマネ養成塾』。今年も開催中ですが、このケアマネ養成が、中央地区・県北地区にも拡がり、地区協会主催や会員有志主催で開催されています。これからの介護支援専門員を育成していくためのも地区協会活動に皆さんのご協力よろしくお願いたします。

成功を志す新任ケアマネジャーの成長セミナー

「新任1～3年目」この間の●●で、自分の未来が変わります！

オススメ！

●●ケアマネジャーだけが知っている成長ストーリー

できるケアマネ養成塾

限定15名

新任1～3年目CMB対象

このような方ぜひ参加して下さい。

- 27年度からの業務について本當にこれだ！の不安
- 法令遵守にマイナスイメージがない
- 経験でも申請が深い
- 早く人間になりたい(成長したい)
- ライバルに差をつけたい
- 前向きな姿を(もちたい)
- 自分を変えたい

※1つでもチェックがついたらオススメです。

★セミナー内容・日程

会員限定全3回で開催

第1回 12月10日(土曜会場)

ケアマネジャーが絶対に押さえておくべきノウハウ・3年後を志す成長ストーリー

第2回 2月17日(横手会場)

少人数制「Give & be given」本気で語る事例研究会

第3回 3月11日(重要有難(大曲会場)

「人財力・人脈力」総力をあげ、最強の相簿で開催します！

「成長の見える化」表彰式！

※研修費は188～20890分(120分)

※費用は無料です。

※大曲会場のみ会場・内容変更も御座ります。

※3回全て参加することを条件です。

●●ケアマネジャーだけが知っている成長ストーリー「できるケアマネ養成塾」3回シリーズ開催 日程：12月10日(土)・2月17日(水)・3月11日(金) ※18:30～20:30

主催 県南地区介護支援専門員協会  
 事務局本部 大仙市大曲栄町13-38(こころの健康支援センター) TEL 0187-63-6885

## ケアマネ・ペンリレー

### 『福祉のワンダーランド』

複合老人福祉施設 いさみが岡 高橋弘樹

もう少しで春休みや5月の大型連休を迎えます。休みが近くになると、「〇〇君、私をデイズニーランドへ連れて行って♡」と彼女からお願いをされ甘い時間を過ごされるカップルや、「お父さん・お母さん、春休みにデイズニーランドへ行きたい」と子供達からお願いされ、夢のような時間を楽しまれるご家族が多いと思われます。（私も行きたいです「キャストこそがゲストを幸せにする最も大きな力だ」（笑））

どうしてこんなにも、デイズニーランドは人気なのでしょう？様々な乗り物や劇場のショーを楽しみに行かれる方、人気のキャラクターに会いに行かれる方、多彩なレイアウトの環境に癒されに行かれる方、おいしい料理を食べに行かれる方などなど・・・考えられることは沢山あります。ペンリレーを読まれている皆さんはデイズニーランドのどこに、ゲスト（お客）の心を引きつける魅力があると思われますか？スペースマウンテンやジャングルクルーズ、ウエスタンリバー鉄道等の乗り物でしょうか。園内を人気のキャラクターが踊って移動するパレードでしょうか。パークごとに味わえる美味しい料理でしょうか。（この話をしているとワクワクした気持ちごとまりません）私はどれをとっても感動し、素晴らしいと思うのですが、その中で一番に来園者の心をつかんでいると思うのが、キャスト（従業員）の皆さんの「幸せな時間を過ごして頂きたい」という心からの対応（誠心誠意）だと思います。自分がデイズニーランドへ行っていつも感じることは、キャスト（従業員）の皆さんは「いつも笑顔でいる」、「丁寧で分かりやすい言葉使いをしてくれる」、「気持ち良い受け答えの態度で接してくれる」この接遇マナーは変わりません。本当に感動し心が癒されてしまいます。実際にデイズニーランドの教育の中では、「デイズニーテーマショーの主役は、キャスト（従業員）である」「キャスト（従業員）こそがゲスト（お客）を幸せにする最も大きな力だ」つまり最大のアトラクションは「キャスト」（従業員）であり、もっとも人を引きつけるのは「人」とであると教育をされるそうです。（深く感銘します・・・。）

これを私達が携わる高齢者の方々の立場に置き換えるとどうでしょうか？居宅や通所を例に挙げさせて頂くと「あそこの居宅さ話っこ聞きに行きでから連れで行ってけれ」や「母さん、あそこのデイサービスさまた行きでから行かせでけれ」など、自分の意思で「行きたい」・「住みたい」、ご家族の判断で「行かせてあげたい」・「住ませてあげたい」と思って頂ける福祉の事業所になっているのでしょうか。そしてそこには、人を引きつける魅力のあるスタッフがいるのでしょうか・・・。

私達福祉現場スタッフは、接遇マナーの他にも対人援助・支援技術・医療の知識など様々な知識が求められ、なおかつ大切な命を預かる大事な役割を担っています。ですから、忙しさのあまりデイズニーランドのキャスト（従業員）のように中々いかないかもしれません。ですが、1人ひとりが意識をすればその気持ちに近づいていくことはできると思います。福祉の現場に人を引きつける魅力のあるスタッフがあふれ返り、どこに行っても幸せになれる「福祉のワンダーランド」があるように・・・。

そのような、老後を夢見て「人材育成」（自分も含む）に励んでいる今日この頃です。

**ありがとうございました。次回は県北地区会員から お楽しみに！！**

【日本介護支援専門員協会東北ブロック岩手県研修会に参加して】

中央地区介護支援専門員協会 会長 長澤 利一  
（特別養護老人ホームやすらぎホームけやき）

平成27年11月14日（土）岩手県で開催された東北ブロック研修会に、11月の冷たい雨が降る中、秋田県協会より福本会長をはじめ3名の理事が参加し、集合場所の一関市から数台のバスに乗りこみ被災地である陸前高田市に向かいました。

第一声「岩手県介護支援専門員協会でも7名の命が失われ、155名の仲間が被害を受けました」からはじまった岩手県介護支援専門員協会神崎会長の挨拶がとても印象的でした。車中では「東日本大震災の当時の様子と現在の状況」の報告があり、現地視察では被災した介護施設の被害状況と災害弱者に対する支援を肌で感じることができました。



仮設生活の長期化で、住民の生活意欲の低下や高齢者の要介護度の悪化を招いている現状。被災により多くの医療施設・介護施設が損壊、医療・介護従事者自身も被災者であり、高齢化や人口減少・介護人材や社会資源の不足の問題も抱えながら、医療・介護の復興に向かうために現地の方が日々奮闘していること。復興には息の長い支援が必要であるということなどいまだ残る震災の傷跡を目の当たりにしました。

東日本大震災から4年が経過し、震災の悲しい記憶が少しずつ薄れてきたように感じています。多くの課題をいまだに抱えながら被災地の復興を願い、その地で前向きに生活している方々から、逆に生きる力をもらった感じがしています。いま私たちに出来る事はなにか、災害発生時にどのような対応・備えが必要か、あらためて考えることができた良い機会となりました。

【インフォメーション】秋田県長寿社会振興財団（LL財団） 

公益社団法人秋田県長寿社会振興財団から、平成27年度秋田県介護支援専門員実務研修受講試験について情報提供をいただきました。今年度の合格率は9.7%と狭き門となっております。

年度別 受験者数・合格者数・合格率）

年度	受験者数	合格者数	合格率
25年度	1,884人	257人	13.6%
26年度	2,106人	341人	16.2%
27年度	1,613人	156人	9.7%

〈性別〉

	25年度	26年度	27年度
男	66人	104人	49人
女	191人	237人	107人
計	257人	341人	156人

この他、年代別としては20代27名、30代62名、40代36名、50代28名、60代3名という合格者数となっています。

秋田県長寿社会振興財団では、平成28年度からの介護支援専門員研修新カリキュラムに応じた更新研修等開催していく予定です。

詳細情報は秋田県長寿社会振興財団ホームページに順次掲載してまいります。

〈地域別（勤務先による）〉

	25年度	26年度	27年度
県北	54人	73人	40人
中央	116人	178人	79人
県南	87人	90人	37人
計	257人	341人	156人

## 秋田県介護支援専門員協会 運営・活動報告

### ◆ 事務局 ◆

#### 県協会からのお知らせ

平成28年度秋田県介護支援専門員協会総会及び第1回研修会が、平成28年5月21日（土）秋田県社会福祉会館を会場に開催されます。要項はこの後配送・HP掲載となりますので、皆様のご参加お待ちしております。

#### 会員情報の変更をお知らせください

引っ越し・転職・異動等に伴う会員情報（自宅住所、勤務先等）の変更の際には、届け出をお願いします。所定の様式（「届出変更書」）にご記入の上、各地区事務局まで提出願います。

### ◎ 研修部会 ◎

10月の「介護予防支援従事者研修」では、経験年数2年未満・以上とに分かれ、グループ演習を実施。150名を超える参加者が予防プランの作成に取り組みました。最後には、情報交換と「まとめ」の時間を設け、率直な意見交換がなされています。こうした研修の機会をもっと増やしてほしいといった声も多く、プラン作成に日々頭を悩ませている会員の要求に応えていける研修の必要性が認識されました。今後の取組みとして、演習指導者や分野別の講師の育成、地域包括ケアシステムの構築に対応できる指導力をもった主任介護支援専門員の育成なども検討中です。

### ◎ 調査・研究部会 ◎

調査研究部会（以下部会）は、主に調査活動と技術的研究を行っていく部会です。調査事業としては、今年は会員の意向調査を行っています。平成27年度の改正においては、「在宅医療・介護連携」「認知症施策」「地域ケア会議」「生活支援サービスの充実・強化」などが打ち出され、介護支援専門員はこれらの制度に対応できる「実践力」が求められるようになりました。そこで部会では、会員の資質向上における手段や研修ニーズなどを把握しています。この調査結果は、協会ホームページに公開する予定ですので一度のぞいて見ていただくとありがたいと思います。

また、過去に実施した「（協会版）認知症アセスメントシート」については、利用者本人に対する「共感的理解」をご家族との面接を通じた共同作業にて進めていく、言い換えればご家族に対する認知症教育的な観点も目的の中に含んでいる、そういった認知症アセスメントシートです。これもホームページに公開し誰でも利用可能としています。「面接で話していることがいつも同じで手詰まり感を感じている」「アセスメント面接が、シートの穴埋めになってしまっている」等々、日ごろの業務に疑問を感じている会員の皆さん、一度このシートを活用してみてもはいかがでしょうか。

最後になりますが、調査研究部会の活動に対して、会員のみならず、そして関係機関のみならずにはいつも多大なるご協力をいただきありがとうございます。今後も活動を充実させたいと思いますので、ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします<(\_ \_)>

## ◎ 相談部会 ◎

相談部会では、FAXでの相談受付を中心に活動しておりますが、現状として相談件数が少ない状況です。そこで、今までの「待ちの姿勢」から「アウトリーチ型アプローチ」へ方針転換し、会員のお役に立てるよう取り組みます。

早速プレケースで『1人CMさんの事業所へ訪問相談をしました！』  
出てきた『声』として…

☑特にケース検討（困難事例）などについて、相談できる人が自事業所におらず困ったことがある。

☑保険者によって、書類整備の判断などが違い困ったことがある。

☑「相談用紙」は初めて目にするが、いろいろ相談できるようなので今後活用してみたい！

上記のような声を解決できるよう、相談のメール受付、訪問相談、県・各市町村への問い合わせ、日本CM協会ともコラボレーションしながら、活用しやすい機能とされるよう活動していきますので、ぜひご活用ください。

## ◎ 広報部会 ◎

広報部会では、『秋田県介護支援専門員協会ホームページ』の更新と共に、今年度から『facebookページ』を開設して会員及び県民の皆様幅広く情報提供をしております。各種研修会及び最新の情報等については、ホームページやfacebookページをご活用下さい。また、秋田県3地区協会研修会の案内及び開催報告書等もホームページに掲載しておりますので、是非ご覧ください。

## 会費納入に伴う

### リコーリースの振替手続きにご協力ください

リコーリースの会費振替手続きが済んでいない会員の皆さまは、是非この機会に振替依頼書（各地区事務局にあります）に記載・押印（金融機関届出印）の上、会費の口座振替の手続きをして下さい。（詳細は各地区事務局にお問合せください。）

第14号（発行日 平成28年 3月25日） 年1回発行

発行 特定非営利活動法人 秋田県介護支援専門員協会

事務局 〒010-0922 秋田県秋田市旭北栄町1番5号 秋田県社会福祉協議会内

Tel: 018-864-2715

Fax: 018-864-2840

E-mail: shisetsu@akitakenshakyo.or.jp

広報部会	新田 雅紀（県北地区介護支援専門員協会）	平澤 陽（県北地区介護支援専門員協会）
	工藤 寿廣（中央地区介護支援専門員協会）	保坂 拓（中央地区介護支援専門員協会）
	渡邊 寛（県南地区介護支援専門員協会）	渡部 勝（県南地区介護支援専門員協会）